

稲田大臣による「クール・ジャパン戦略」に関する講演会での東大使挨拶  
(2014年7月19日 於：グルベンキアン財団)

本日は、かくも多数の御参加を頂きありがとうございます。

本日は、稲田大臣をお迎えして「クール・ジャパン戦略」に関する講演会を開催でき嬉しく存じます。本年5月、現職の日本の総理大臣としては初めて安倍総理がポルトガルを訪問されましたが、稲田大臣の訪問は安倍総理訪問後はいはじめての日本の閣僚の訪問であり、今後の両国関係にとっても重要な意味をもつものと言えます。

稲田大臣は、内閣府特命担当大臣として行政改革、公務員制度改革とともに「クールジャパン戦略担当大臣」として、「クールジャパン」の世界への発信に尽力して来られました。

ここ「ポルトガル」においても日本及び日本文化に対する関心は高まりを見せております。先般、6月21日、「日本祭り」を実施した際も、多くの「ポ」人のコスプレのメンバー、武道家等が登壇し、数千人の参加がありました。また、近年、和食・寿司レストランも急激に増加している等「クールジャパン」の広がりが見られます。

本日は、日頃、日本文化に関心をもち、日本文化の発信に貢献して頂いている多くの方に出席頂いています。これらの方々に改めて御礼申し上げるとともに、今後も日本文化に興味と関心を持って頂きその「日本が好き」という気持ちを発信して頂ければ幸甚に存じます。

また、この講演会の後、稲田大臣との交流会を予定しておりますので、皆様が、普段「日本文化」について感じていることや「クールジャパン」の世界への発信について同大臣と意見交換して頂ければ幸いに存じます。

最後になりましたが、本日の講演会実現に当たって会場提供等の御協力を得た「グルベンキアン財団」に心よりの感謝を表したく存じます。  
(10月からここ「グルベンキアン財団」で「日本の書展」が予定されています。)

皆様、御清聴ありがとうございます。